

# 防災コラム

防災防犯課

## 第1回

合言葉は『まず身の安全』

グラっときたら…

今この瞬間に地震が起きたら、皆さんはまず何をしますか。「火の始末」でしょうか。今、防災関係者は「まずは身の安全を図るべき」と考えています。火の始末は揺れが収まった後で十分です。

私たちの防災意識を大きく変化させるきっかけとなったのは阪神淡路大震災でした。それから20年が経ち、災害に対する研究も進みました。その結果、昔は常識とされていたことの中に、現在では常識とはいえないものが出てきました。

**火災より家具の転倒が危ない**

震度5以上の地震になると、歩くことが難しくなります。そして、花瓶やテレビだけでなくタンスなどの家具が倒れる恐れが高まります。阪神淡路大震災では、テレビ中継の影響により火災のイメージが強くなり

ます。死亡原因の第1位を火事だと考えても不思議ではありません。実際には、神戸市内で亡くなった方の4人に3人は建物や家具などの下敷きとなったことが死亡の直接の原因でした。また火災で亡くなられた方も建物や家具が邪魔となり、逃げられなかったのではないかと考えられています。



さまざまな種類の家具等転倒防止器具

**新しい防災知識を手に入れよう**

それでは、火の始末はいらないのでしょいか。実は現在使われているガス設備は、揺れを感じして自動的に元栓が閉まる仕組みを備えています。食器棚や冷蔵庫の下敷きになったり、落ちてくる皿や床に落ちて割れたガラスでケガをしたりする危険を冒してまで、急いで火を消さなくても、揺れが収まり安全が確保されてから火元を確認して消火すれば十分なのです。